

叢と恵

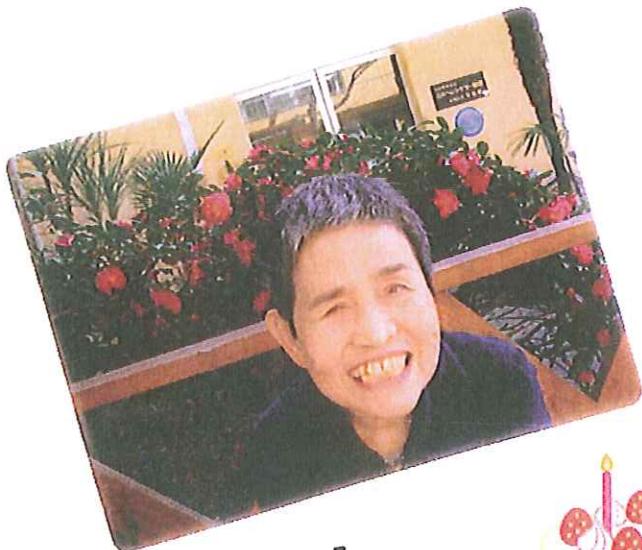
一えいいちけい一
平成23年(2011)

4月1日 NO.46

日本ヘレンケラー財団
<http://www.helenkeller.or.jp>

叢
知
恵

ヘレンケラーさんのイニシャル文字「H.K」の象徴です。
『叢』は、深遠な道理を悟る才知とすぐれた知性を言い、『恵』とは、天地のいつくしみです。
『叢知恵』とは、森羅万象の情けと、人間の知性の融合という意味であります。



法人と同じ60歳を迎えた利用者・職員の写真を掲載しております。

新たな一步に向けて

理事長 西川 佳夫

昨年は「法人六十周年」の式典も無事に終え、今年度新たな一步を踏み出すことになりました。

四月より太平学園、伯太學園、此花第2太平学園、阪南市立さつき園の四施設が自立支援法による新たな体系に移り、太平学園は入所支援、生活介護事業、此花第2太平学園は生活介護事業、阪南市立さつき園は生活介護、就労継続B型事業の小規模多機能型とそれぞれ新法による新しい事業所へと生まれ変わりました。それに連して施設名称も太平学園は障害者支援施設『太平』、太平学園診療所は『太平診療所』、伯太學園は障害者支援施設『IL(インディベンディング)伯太』、此花第2太平学園は『ぶるうむ此花』、阪南市立さつき園・まつのき

援法の範囲に含まれることが法律上に明記された)、障害者の総合的な相談機関としての基幹相談支援センターの設立等相談支援の充実、障害児支援の強化、グループホーム・ケアホームの利用の際の助成、重度視覚障害者(児)に対する移動支援の個別化給付等挙げられてはいますが、具体的なことはこれから徐々に明らかにされていくとは思います

か、今の政治の情勢をみると非常に不安を覚えるのは私一人ではないでしょう。

三月十一日、日本観測史上

最大「震度九」という未曾有の大地震が東北地方太平洋沖を襲いました。犠牲となられた方の数は津波による被災者

の方を含めると阪神・淡路大震災を大きく上回ることは確実となつてきました。平成七年一月十七日に起こった阪

神・淡路大震災を経験した職員も多少なりともまだ法人に残っています。あの時の法人

が、今日現在、何一つ示されではおりません。私たちが最も注視していたのは、報酬改定と日割り制度の見直しの二点であります。私が最も注視していたのが、報酬改定

が、四月一日をもって『地域生活支援センター各駅停車』

の中に組み込まれました。法

律の変遷に伴つて施設の形態もそれに追随していかねばなりません。

障害保健福祉関係主管課長会議が二月二十二日に開かれました。要約すると、利用者負担の見直し、障害者の範囲の見直し(発達障害が自立支

援法の範囲に含まれることが法律上に明記された)、障害者の総合的な相談機関としての基幹相談支援センターの設立等相談支援の充実、障害児支援の強化、グループホーム・ケアホームの利用の際の助成、重度視覚障害者(児)に対する移動支援の個別化給付等挙げられてはいますが、具体的なことはこれから徐々に明らかにされていくとは思います

が、今日現在、何一つ示されではおりません。私たちが最も注視していたのは、報酬改定と日割り制度の見直しの二点であります。私が最も注視していたのが、報酬改定

について、平成二十四年四月に見直し予定ですが、「平成二十一年四月の報酬改定の効果等を勘案しつつ、障害者自立支援法等の改正などを踏まえて検討する」となつております。日割り制度の見直しについてはその記載すら見出せません。平成二十五年八月に予定されている障害者総合福祉法(仮称)に光明が見出せるのか否か、今の政治の情勢をみると非常に不安を覚えるのは私一人ではないでしょう。

展示販売出来る場所

教えて下さい

(救護施設 平和寮)

開催当初は、関係者のご尽力もあり、来場者も多数お見えであつたとのことです。

『第二十八回ふれあいの街チャリティーバザール』が一月に高島屋堺店にて実施されました。平和寮からも例年多くの作品を出品させて頂きました。

しかし、チャリティーバザールがこの二十八回をもつて終了する事が決定しました。そのため、急遽今後の展開について検討する必要が出てまいりました。

『チャリティーバザール』は、大阪府社会福祉協議会の成人施設部会(救護施設等が所属)とセルフ部会(授産施設等が所属)の共同主催で、一月の恒例行事として長年実施されてきました。

平和寮では、雑巾や陶芸・手芸作品などをこの行事を目標に作製し、出品してきました。今後とも作業にて制作は続けていきたいと考えていますが、チャリティーバザールを販路に考えてきたこともあり、販路を失うこととなってしまった。

もし、平和寮の作品に興味があり、展示・販売をご検討頂ける方がございましたらご紹介下さい。よろしくお願い致します。

濱原 賢次

飛行機に乗つて

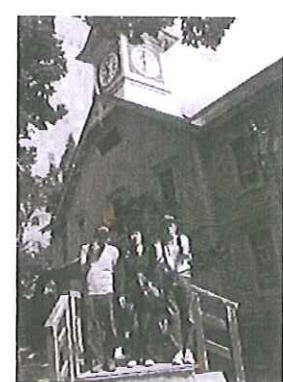
(伯太学園)

しかし、百円ショップが台頭してきた頃から来場者も減少の一途を辿り、ここ数年、前年比より売上減が続いてきたのが現状でした。本当の理由はわかりませんが、終了の背景にはそのような時代の流れもあつたのかもしれません。

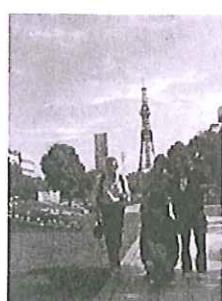
今年度は、今までの旅行とは違った利用者の方の行きたい所へグループを細かく分け少人数で行っていただきました。みさき公園やU.S.J.、牛滝温泉や奥水間温泉など近場から、名古屋や北海道までさまざまな場所へ出掛けました。

なかでも、北海道旅行は飛行機を乗り移動するという事で、楽しみや不安さまざま思いを乗せ出発しました。

三日目は、空港へ向かう途中に時計台を見に行き記念撮影。楽しい時間はあつという間に過ぎて行き、不安もありましたがそれ以上に最高の思い出が出来ました。



来年度の目標は海外です。これからも新しい事に沢山挑戦し素敵なお思い出をたくさん作っていたとき、人生の財産を残していくからいいなと思つております。



初めての北海道、食べたい物も行きたい所もたくさんありました。が、予定通り一日目は小樽へ行き夕食にジンギスカンを、二日目は旭山動物園へ行き夕食はすすきのすすきのでは沢山のお店が立ち並ぶなか、ラーメンに決定! 食後はホテルに戻りお酒を飲みながら楽しみました。

河野 名央

自閉症 eサービス

(太平学園)

太平学園には、行動障害を持つ方が沢山利用されています。一度でも来園された方なら御存知だと思いますが、太平学園は広い敷地を持ち、四季が感じられ、自然に触れられる施設で、職員も施設のアピールポイントとしている所もあります。しかし、この大きな空間が、行動障害のある方にとって、随分と辛い思いを抱かせてしまっています。自閉症の障害特性である、視覚優位が、広すぎる為、情報量が膨大になってしまふからです。

そこで、昨年十一月より、NPO 法人自閉症 eサービスのコンサルテーションを受け、行動障害のある方の支援方法、支援体制についてアドバイスを頂いています。全五回中三回が終わった時点で、簡単なテストを行い、個別に何が出来、どんな物に反応しているかが、わかりました。

※福祉・教育現場に専門コンサルタントを派遣し、連携して現場支援や専門講習をおこない、それぞれの現場における利用者支援の質の向上を図るサービス

職員数の関係で、構造化された空間での活動は未だ、実践できていませんが、一人の利用者は、食事前の活動のスケジュールを統一することで、食事前の興奮が少し落ち着いています。残り二回で、どう変わっていくのか職員は、楽しみになってきています。

今回の事業を通して、障害特性も含め、利用者を知ることの大切さを改めて実感しました。コンサルテーションは先を見るだけではなく、原点回帰の場でもあると感じています。

原 棚 正至



くじらと花と笑顔

(此花第2太平学園)

平成二十二年十月二十三日に西島小学校にて行なわれたイベント『くじらと花と笑顔』にバザーで参加させて頂きました。このイベントは此花区作業所連絡会、地域アクションプラン推進委員会(あみゅうず)との共催で、四月よりスタッフとして企画に参加してきました。

三年前に、アートを通じて交流しようというイベントで、伝法港の壁に、くじらの壁画を描きました。今回、またアートを通じて交流を図ろうと、壁画のくじらにちなんだイベントを催しました。



奥左、手形でカレンダーを作製中。



作業所連絡会で販売活動をしてまへす。

学園から出て、バザーを開催させていただいたのは初めてで、少し不安もありましたが、多くの皆様にお買い上げ頂き、大盛況で終える事ができました。

西田 浩美

日本三景で運試し

(今池平和寮)

今池平和寮では毎年一泊旅行、日帰り旅行を行っています。今年は、一班は日帰り滋賀(彦根城)旅行。二班は一泊福井旅行。四班は日帰り京都旅行へ出掛けました。

私が付き添つた三班では、日本三景の一つ『天橋立』に出掛けました。天橋立ですが、与謝野の大内崎から見る「横一文字」、傘松公園からの「斜め一文字」、東の栗田崎から望む「斜め一文字(雪船観)」が、天橋立三大觀と言われているそうです。

その中で私達は、ケーブルカーを使って天橋立を眺める事が出来たのは、股覗き台が一台ではなく、何台もあつた」とでした。

日帰り旅行を行つています。今年は、一班は日帰り滋賀(彦根城)旅行。二班は一泊福井旅行。四班は日帰り京都旅行へ出掛けました。

帰りのバスの道中、皆さんに何が一番楽しかったか尋ねると、やはり夢中になっていた瓦投げと答えられていました。日本三景で運だめし。なかなか燃えるものですね。

広原 初美

その日は天気も良く、皆で股覗きを行うと天橋立がまるで天に掛けられているような絶景が見えたのです。さらに天橋立には股覗きの他にもう一つ開運の瓦投げと言うものがあり、願いを込めて輪にめがけ瓦を投げます。輪に瓦が通つたら願いが叶うと言わ

ており、利用者の中には瓦投げに夢中で、何枚も瓦を購入しては輪に投げられている方もおられました。輪に瓦が入ると願いが叶うだけではなく、その場で開運シールもお土産でもらえるのです。唯一お一人だけ入った方がおり、「やつた!」と喜んでおられました。

茶華道部(お茶・お花と一緒にしませんか)
毎月第一・三火曜日の午後六時から活動を行っています。華道は季節の花、枝がもつ美しさ可愛さを表現します。実際は奥が深いですが自分なりに花を生け先生の手直しをうけると花がそこにはないといけないようになります。



茶道部初釜

茶道も四季をイメージしたお菓子が用意されお茶をたてる動きにも一つ一つ意味があります。堅苦しそうですがこれが意外と癒されます。お客様にたいするおもてなしの心は素晴らしいものです。興味のある方は見学から、そして一緒に楽しみましょう。



茶道部練習風景



シールゲット!!



特別賞

(各駅停車)

私は生活介護「一丁目」で働き出します。一年になります。「一丁目」では毎日様々な活動を行っていますが、その中で私が一番印象に残っている事をご紹介します。それは「第一回一二丁目運動会」での出来事です。今年は風船合戦・借り物競走・ルーレットゲームが行われ、競技中はスタッフも利用者さんも一緒になつて盛り上がりました。



井崎 もも

記念写真を撮ったときの泣き笑い顔は見ているだけでこちらまでうれしくなってしました。一丁目にきて二ヶ月ほどでまだ悪戦苦闘していた私にとつてその笑顔は何ともいえない喜びを与えてくれました。

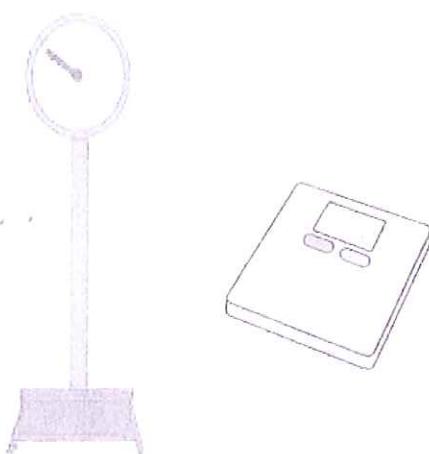
その後もその方は勝つては喜び負けては落ち込み、真剣にゲームに打ち込みます。私ももう一度あの笑顔が見たいのでこれからもいろんなゲームを考えて皆と一緒に楽しみたいと思っています。

チームワークで

健やかな成長

(盲児施設 平和寮)

児童寮でお世話になって二年が過ぎました。小児科病棟勤務のみで、障がいがある子どものかかわりは殆ど無く、最初は手探り状態の日々が続き、しんどい時期もありました。その中で徐々に見えてきたものは施設看護師としての役割と、子どもの支援に必要なのは施設全体のチームワークが不可欠だという事でした。子どもは常に成長し、環境が大きく影響します。入所後の生活環境を守り成長を促し、心を支えながら自立を支援するには多方面からの援助が必要であり、それはチームワークで対応していくしかありません。



檀上 真印子

夜間・昼間にかわららず支援にたずさわっている職員全員の情報や協力は必要であり、特に感染症対策や緊急時の対応にはとても重要な役割を担っていただいています。又、子どもの施設ならでは、学校との連携にも気を配っています。通り施設としての児童寮。子ども達が胸を張って退寮するのを、職員も胸を張って見送れるよう、これからも頑張っていきたいです。

今年も福づくし

(さつき園・まつのき園)

一年の最初の行事が恵比寿さんの福飴売りで、今年もさつき園・まつのき園が景気良く活気付き賑わうように毎年元気良く販売しています。



福飴です



福飴いかがですか？



さつき園の福娘です

仲西 由美子

えがお

(アテナ平和)

「アテナ平和」入所・生活介護の部署に勤務して一年が経ちました。勤務してから一日一日が早く過ぎていると感じます。

支援員としてまだまだ未熟者で日々葛藤し悩んでいますが、利用者の方の笑顔に出会ったときに喜びを感じることができ、笑顔を見せてくださる利用者の方がいるおかげで自分は頑張っているのだと実感できます。

一日の生活の中で利用者の方一人一人が、色々な場面で笑顔を見せてくれます。

施設に入所されている利用者の方は、外に出る機会が少なく外出や行事を楽しみにしていて、行事の前には以前の施設のことや外出事の思い出をたくさん話してくれます。



春日 裕太郎

アテナ平和での生活支援の中で職員一丸となり、利用者の方々には思い出を沢山作つてもらい、職員には笑顔というプレゼントを利用者の方々から貰えるようになります。これからも努力し頑張っていきたいと思います。

たんぽぽ園の植物

(阪南市立たんぽぽ園)

たんぽぽ園の園内にはたくさん
の植木や植物が植えられています。
砂場の上には藤、つき山の周
辺にはモクレン、サンゴジュ、駐車
場には雪柳、イチヨウ、正門脇に
は大きな桜をはじめ、楠、杉、梅、
ツゲ、バラ、ソテツがあり、裏庭に
はビワ、柳、櫻、アジサイが植えら
れています。

その他園庭には、水仙やチュ
リップ、つわぶき、グラジオラス等
の球根や、ランタナコスモス、そし
て一面のクローバーなどが四季折
々の花を咲かせています。
子どもたちは様々な花を見て
季節の移り変わりを感じ、きれい
な花を見ることで豊かな感受性
を育てていきます。

中川 博



法人人事報告

管理職異動（異動施設）

・西川佳夫

(救護・平和寮施設長)

・山本卓

(さつき園・まつのき園施設長)

・高山慶太

(太平学園施設長代理)

・三宅裕子

(地域生活支援センター
一般職員異動（旧施設）

・じよいふるはかたセンター長)

・亀井伸幸(アテナ平和)

【さつき園・まつのき園】

・川岸真紀子(たんぽぽ園)

【地域生活支援センター】

・菅下由梨(アテナ平和)

【各駅停車】

・千丈 薫(此花第2太平学園)

・岸岡みなみ(伯太学園)

・中川華奈(太平学園)

・中田礼子(伯太学園)

・津野きよみ(伯太学園)

・菅岡 満(伯太学園)

・藤井恒輝(伯太学園)

・須納瀬暢晃(伯太学園)

・伊藤泰輔(伯太学園)

・戸高奈津子(伯太学園)

・山田洋一(たんぽぽ園)

・大霜佳那(アテナ平和)

・西田岳峰(アテナ平和)

・岡原祐輔(アテナ平和)

・西原歌奈子(アテナ平和)

【地域生活支援センター】

・じよいふるはかた

昇進（施設名・役職）
・湯上 誠(法人本部・主任)
・池藤園美
(此花第2太平学園・主任)

・奥田純一(今池平和寮・事務長)

・吳屋善之(今池平和寮・主任)

・打越寛子(伯太学園・支援部長)

・山千代瑞穂(伯太学園・主任)

・植田辰彦(アテナ平和・副館長)

・山田洋一(たんぽぽ園・副園長)

・新任職員(配属施設)

・石川とし子(救護平和寮)

・高田千尋(盲児平和寮)

・吉田卓史(盲児平和寮)

・小出郁美(太平学園)

・岡井真洋(太平学園)

・中川華奈(太平学園)

・千丈 薫(此花第2太平学園)

・岸岡みなみ(伯太学園)

・津野きよみ(伯太学園)

・菅岡 満(伯太学園)

・藤井恒輝(伯太学園)

・須納瀬暢晃(伯太学園)

・伊藤泰輔(伯太学園)

・戸高奈津子(伯太学園)

・山田洋一(たんぽぽ園)

・大霜佳那(アテナ平和)

・西田岳峰(アテナ平和)

・岡原祐輔(アテナ平和)

・西原歌奈子(アテナ平和)

【地域生活支援センター】

・じよいふるはかた

法人六十周年記念パーティー

「ヘレンケラー財団の軌跡」

昨年の十一月十日、本町のヴァイアーレ大阪におきまして、法人の「六十周年記念パーティー」へレンケラー財団の軌跡が開催されました。各施設よりお招きいたしました地域等の皆様、法人役員、法人職員、総勢百四十九名の皆様のご参加をいただけました。

式典は定刻の十八時半より始まりました。最初の理事長の挨拶では、前号の「歓迎」の表紙を飾っていた各事業所の年齢を引用し、簡単な法人の歩みと今後についてのお話をいただきました。



綿谷様からは法人創世記の話を講演いただきました

り、「法人の六十年の歩み」をご講演いただきました。現職の職員は誰一人として知らない、法人創世記の苦労談をお話いただきました。

非常に有意義な時間となりました。そして、このパーティーでもつとも盛り上がったのが「第一回HK-1グランプリ」でした。各事業所が忙しい時間の間を縫つて練り上げてきた出し物の披露となりました。ダンスやコラス、器楽演奏、お芝居と趣向をこらした出し物で、会場を埋めた皆様を楽しませていただきました。栄えある「第一回HK-1グランプリ」は、盲児施設平和寮の「安全戦隊ナオスンジャー」が受賞しました。



「ナオスンジャー」の勇士

次に、ご参加いただきましたご来賓と法人役員の紹介の後、「永年勤続表彰と法人永年功労賞」が行われ、勤続二十五年以上の職員と、永年にわたり法人を支えてくださった皆様、総勢十二名の方の表彰が行われました。引き続き、功労賞で表彰を受けられた、法人役員の綿谷様よ

り、この地点で前半の式典が終了しました。当初は時間通り進行できるのか、非常に不安でしたが、やや時間に余裕を持って、休憩に入ることができました。しばしの休憩後、待ちに待つた会食の時間へと移っていきます。

楽しい時間はあつという間に過ぎるもので、副理事長の閉会の挨拶があり、明日からの業務の再開にさるなるモチベーションをいただき、パーティーを無事終了

することができました。

これまでこのような法人の式典は、各施設が持ち回りで計画・開催してきました。この度は実行委員会が計画・開催する初長はじめ、法人の役員の皆様、各施設長の皆様、当日各部署で担当してくださいました。職員の皆様のおかげをもちまして、初めての試みとしては、大きなトラブルもなく、式典を終え、ホッと胸をなで下ろしたといつたところです。しかし、開場時間が遅れ、受付での打ち合わせ不足から、一部の役員の方にご迷惑をお掛けするなど、反省すべき点は多々ありました。次回も実行委員会を設けて開催するならば、これを活かしていくければと思うところです。

第3回 「障害者自立
支援法とは?」

ふくし事典

さて、我々法人内の施設も、新法（障害者自立支援法）へ移行してまいりました。新法（障害者自立支援法）とは何かを今一度、簡単にですが掲載させていただきます。

障害のある人々の自立を支えるということで、障害の種別（身体障害・知的障害・精神障害）にかかわらず、障害のある人々が必要とするサービスを利用できるよう、サービスを再編したものです。介護の支援を受ける場合には「介護給付」、訓練等の支援を受ける場合は「訓練等給付」に位置付けられており、それぞれ、利用の際のプロセスが異なっています。入所施設のサービスを、昼のサービス（日中活動事業）と夜のサービス（居住支援事業）に分けることにより、サービスの組み合わせを選択できます。

旧体系サービス

居宅サービス	ホームヘルプ (身・知・児・精)
	デイサービス (身・知・児・精)
	ショートステイ (身・知・児・精)
	グループホーム (知・精)

施設サービス	重症心身障害児施設 (児)
	療護施設 (身)
	更生施設 (身・知)
	授産施設 (身・知・精)
	福祉工場 (身・知・精)
	通勤寮 (知)
	福祉ホーム (身・知・精)
	生活訓練施設 (精)

(注)表中の「身」は「身体障害者」、「知」は「知的障害者」、「精」は「精神障害者」、「児」は「障害児」のことです。

新体系サービス

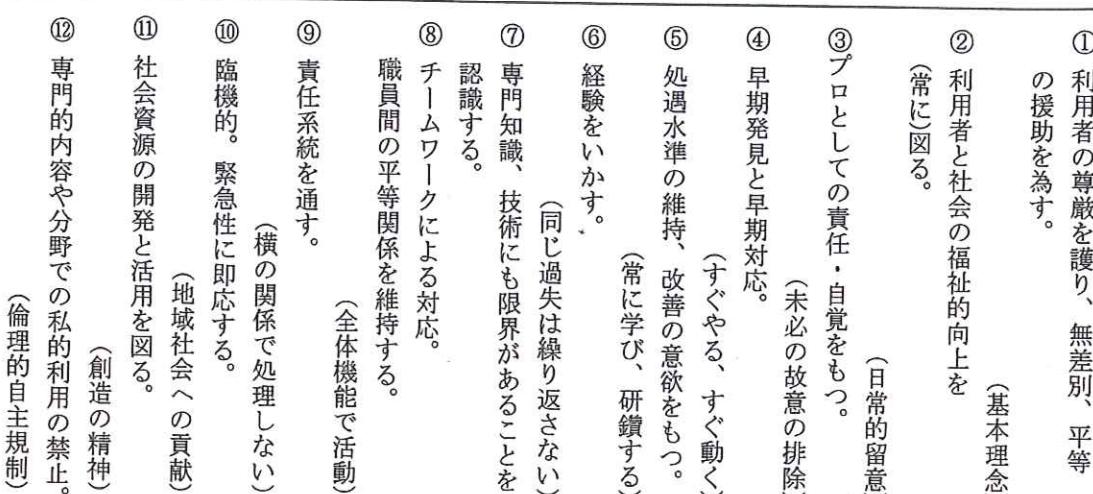
介護給付	居宅介護（ホームヘルプ） [各]	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います
	重度訪問介護 [各]	重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行います。
	行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います
	重度障害者等包括支援	介護の必要性がとても高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行います
	児童デイサービス [た]	障害児に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います
	短期入所（ショートステイ） [児][太][伯][さ][ア]	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います
	療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話を行います
	生活介護 [太][伯][此][さ][ア][各]	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します
	障害者支援施設での夜間ケア等（施設入所支援） [太][伯][ア]	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行います
	共同生活介護（ケアホーム） [各][じ]	夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います
	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活又は社会生活ができるよう一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います
	就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います
	※就労継続支援 (A型=雇用型、B型) [太][さ][ア][各]	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います
	共同生活援助 (グループホーム) [各][じ]	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います
	移動支援 [各]	円滑に外出できるよう、移動を支援します
	地域活動支援センター [ま][ア]	創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う施設です
	福祉ホーム	住居を必要としている人に、低額な料金で、居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います

(注)表中の、新体系サービスの下の「児」は「児童平和寮」、「太」は「太平」、「伯」は「IL伯太」、「此」は「ぶるうむ此花」、「ア」は「アテナ平和」、「さ」は「さつき園」、「ま」は「まつのき園」、「た」は「たんぽぽ園」、「各」は「各駅停車」、「じ」は「じょいふるはかた」のことです。各施設で各サービスを提供しております。

※就労継続支援では、B型を提供しています。

参考文献
厚生労働省／国社会福祉協議会
支援法の円滑な施行に向けて
(平成一九年七月改訂版)

社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団
「觀知恵」の倫理的自主管理理念



名 称	種 別	所在地	電 話
法人本部	事務局	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27	06-6628-2229
平和寮	救護施設	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27	06-6628-6151
平和寮	盲児施設	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町3-27-2	06-6621-4583
太平学園	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町3-13-68	0725-45-2760
太平学園診療所	診療所	〒594-0023 和泉市伯太町3-13-68	0725-43-9066
此花第2太平学園	障害者支援施設(通所)	〒554-0024 大阪市此花区島屋3-2-32	06-6468-7898
今池平和寮	救護施設	〒557-0003 大阪市西成区天下茶屋北1-4-6	06-6633-3161
伯太学園	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町3-13-57	0725-41-8191
さつき園	障害者支援施設	〒599-0211 阪南市鳥取中9-1	072-471-6868
まつのき園	地域活動支援センターI型	〒599-0211 阪南市鳥取中9-1	072-471-6863
アテナ平和	障害者支援施設	〒545-0003 大阪市阿倍野区美章園3-7-2	06-6629-2062
阪南市立 たんぽぽ園	児童デイサービス	〒599-0203 阪南市黒田468-1	072-473-2816
各駅停車	地域生活支援センター	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町3-35-2	06-6629-7778
じよいふるはかた	地域生活支援センター	〒594-0023 和泉市伯太町1-12-50	0725-58-7512

編集後記

去る3月11日、『東北地方太平洋沖地震』が発生し、東北地方を中心に広範囲にわたり甚大な被害が発生いたしました。被災された皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

また、この度の大震災義援金におきまして、報告いたします。後期行事の参加費分の30万円は、公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団を通じて義援金として、各施設からの37万円は日本財団を通じて現場で救済活動を続けている支援団体のための支援基金として、寄付させて頂きました。皆様の熱いご支援に感謝いたします。

編集委員長 大西 孝亮

編集委員 濱原 賢次 (救護施設平和寮)
佐々木 俊宏 (盲児施設平和寮)
小野 阿津美 (太平学園)
岩田 憲治 (此花第2太平学園)
中西 博美 (今池平和寮)
万田 ゆき (伯太学園)
南 洋一郎 (伯太学園)
山本 ひろみ (さつき園)
まつのき園
川端 悠太 (各駅停車)